

通し番号	4373
------	------

分類番号	20-71-21-02
------	-------------

(成果情報名) 平成19年え付け採卵鶏の経済検定
[要約] ジュリア、ライト、EX、マリア、ソニア、ボリスの6銘柄について生産性、卵質、経済性について検定を実施した。産卵率は各銘柄とも85.9~88.8%と高かった。平均卵重はマリアが56.6gでジュリア、EX、ボリスに比べて有意に小さかった(P<0.05)。また卵殻強度はジュリアが4.41kg/cm ² でEX、マリア、ソニア、ボリスに比べて有意に優れていた(P<0.05)。収益性では規格卵、非規格卵収益ともボリスが優れていたが、各銘柄間に有意な差はなかった。
(実施機関・部名) 神奈川県畜産技術センター 企画経営部 連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

採卵鶏の各銘柄は年々改良され性能・特徴が変化しており、各養鶏場に適合した銘柄を選定するか否かで養鶏経営の良否が分かれる。そこで、本県で普及している採卵鶏の銘柄について、それらの特質と能力を検定して養鶏農家における鶏種選定の指針を示す。

[成果の内容・特徴]

- 1 育成率は、全銘柄で98%以上と良好で、20週齢の体重は色玉鶏のボリス、次いでソニアが重くマリアが軽かった(表1、P<0.05)。
- 2 日産卵量、飼料要求率、生存率は、銘柄間に有意な差がなかった(表1)。
- 3 平均卵重はマリアが軽く、ジュリア、EX、ボリスが重く(P<0.05)、マリアとジュリアの差は約3gであった(表1)。
- 4 ハウユニットが、マリアが86.8でジュリア、EX、ボリスに比べて優れていた(表1、P<0.05)。
- 5 卵殻強度は、ジュリアが4.41kg/cm²でEX、マリア、ソニア、ボリスより有意に優れていた(P<0.05)(表1)。
- 6 卵黄重比は、ライトが27.8でEX、ソニア、ボリスより有意に高かった(表1、P<0.05)。
- 7 収益性は、規格卵、非規格卵収益ともボリス>ライト>EX≒ジュリア>ソニア>マリアの順となったが、各銘柄間に有意な収益性の差は認められなかった。(図1・2)

[成果の活用面・留意点]

銘柄の特徴(生産性、卵質等)を考慮して、それぞれの販売方式に適合した銘柄を選定することにより経営向上が期待できる。

[具体的データ]

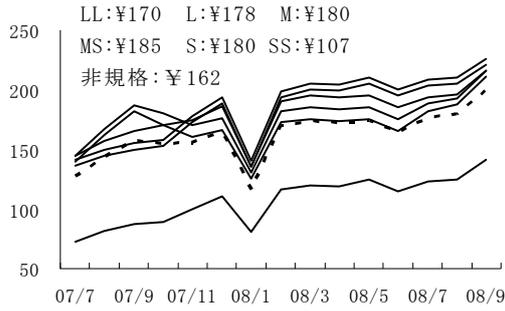


図1 非・規格卵価の月別推移(H19.7~H20.9)

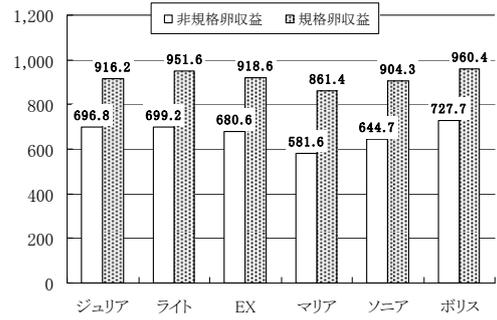


図2 収益性

表1 平成19年度餌付け採卵鶏の経済検定成績(0~80週齢)

	ジュリア	ライト	EX	マリア	ソニア	ポリス
[育成期(0~20週齢)]						
0~19週齢						
育成率(%)	99.0 ab	98.0 a	99.0 ab	100.0 b	100.0 b	99.0 ab
飼料総摂取量(g/羽)	8,019 bc	7,990 ab	7,996 ab	7,676 a	8,118 b	8,300 b
20週齢体重(g)	1,432 a	1,442 a	1,482 ab	1,409 a	1,573 bc	1,661 c
[成鶏期(20~80週齢)]						
○生産性						
50%産卵到達日齢	145.8 bc	144.0 abc	145.5 bc	146.0 c	143.5 ab	142.8 a
産卵率(%)	85.9	88.6	87.1	86.7	87.3	88.8
平均卵重(g)	59.9 a	57.9 bc	60.1 a	56.6 c	58.3 abc	59.6 ab
日産卵量(g)	51.7	51.5	52.6	49.2	51.0	53.0
飼料摂取量(g/日)	102.0 a	102.3 a	102.3 a	97.7 b	102.7 a	101.2 a
飼料要求率	1.99	2.00	1.96	2.00	2.01	1.91
生存率(%)	94.8	96.9	92.7	94.8	96.9	95.8
○卵質*						
ハウユニット	83.8 b	84.8 ab	83.5 b	86.8 a	84.3 ab	82.9 b
卵殻強度(kg/cm ²)	4.41 a	4.19 ab	3.72 c	3.66 c	3.74 c	3.93 bc
卵黄重比	27.1 ab	27.8 a	26.0 bc	26.9 ab	26.4 bc	25.2 c
血斑出現率(%)	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肉斑出現率(%)	0.0 a	0.0 a	1.0 a	0.0 a	9.0 b	12.0 b
○規格卵比率						
LL	12.0 a	5.8 ab	9.0 ab	4.2 b	6.4 ab	10.3 ab
L	38.8 a	29.4 bc	37.1 ab	26.3 c	27.6 c	34.4 abc
M	31.4	39.9	35.3	36.6	41.4	35.9
MS	13.0 b	19.8 ab	14.6 b	25.2 a	20.4 ab	15.2 b
S	2.6 bc	4.0 b	2.2 c	7.0 a	3.2 bc	2.2 c
SS	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1
バック卵(L~MS)	83.2	89.0	86.8	88.2	89.2	85.5
○収益性(生産卵量×月平均卵重-ヒナ代-飼料費:円/羽・年)						
非規格卵価	916.2	951.6	918.6	861.4	904.3	960.4
規格卵価	696.8	699.2	680.5	581.6	644.7	727.7

※ 卵質は、34, 44, 54, 65, 77 週齢時の平均値 ※※同一項目内において異符号間に有意差あり (P<0.05)

[資料名] 平成20年度試験研究成績書

[研究課題名] 採卵鶏の性能比較調査

[研究期間] 平成18~20年度

[研究者担当名] 引地宏二、平原敏史